

平成 22 年 2 月 15 日

住友信託銀行株式会社

中国株 SRI 投信の設定について

住友信託銀行（取締役社長／常陰 均）は、このたび、関連会社の住信アセットマネジメントと協働し、日本籍投信の中国株 SRI「チャイナ・グッドカンパニー」の設定・販売を開始します。中国企業に対する本格的な CSR 調査を行い中国の人民元建て株式（中国 A 株）に投資する SRI 投信は国内金融機関では初めてであり、また、世界の金融機関の中でも有数の取り組みとなっております。

中国は近年、和諧社会（バランスの取れた社会）の構築、科学的発展観（環境に配慮した持続可能な発展）といったスローガンを掲げ、企業にもその社会的責任を求めてきています。2008 年 11 月に行われた第 16 回 APEC 首脳会議では、中国の胡錦濤国家主席は国際経済・社会発展における中国の主張のひとつとして「規範化・指導によって、企業の社会的責任を強める」ことを挙げ、国際社会にも CSR の重要性を訴えました。更にこの年、中国企業の CSR 分野における国家クラスの研究機関として中国社会科学院「企業社会責任研究センター」が設立され、社会的責任を果たしている企業やセクターの分析が行われました。こうした背景もあり、中国企業の CSR レポート発行数が急増するなど、CSR への関心も急速に高まっています。

このような状況は、株式投資における SRI スクリーニング（銘柄選定）が有効に機能する環境であるとも考えられ、本商品はアジアにおける中国の高成長とそれを支えるクオリティの高い中国企業の成長獲得を狙いとして作られました。

本商品は中国 A 株の他、香港市場に上場されている中国企業の株式（H 株）等にも投資します。銘柄選定に当たっては、日本総合研究所が環境、社会、ガバナンス（ESG）の観点から実施する調査等を参考にします。具体的には、日本総合研究所は社会的責任（CSR）に関するアンケート調査を実施し、回答結果を数値化した上で評価の高い企業を明らかにします。住友信託銀行は、調査結果を踏まえて財務（株価）評価を行い、ポートフォリオ採用銘柄を決定します。更に投信運用者の住信アセットマネジメントに対してポートフォリオの助言を行います。

取扱は住友信託銀行全店の窓口の他、岡三証券、丸福証券、東洋証券の予定となっております。

当社は、日本の信託銀行としては唯一中国国内に支店を擁し、人民元の取り扱い認可を受けて銀行業務を行っています。この他、現地法人ではコーポレートアドバイザーや省エネコンサルティングも行っています。今回の中国株 SRI 投信の設定は、QFII ライセンス並びに Quota の取得により可能となったものであり、住友信託銀行はこうした新たなチャレンジによって、今後とも中国と日本両国の成長に貢献できる業務を推進していきます。

以上

※「チャイナ・グッドカンパニー」のリスク・費用等は[こちら](#)のご注意事項を必ずご確認ください。

(ご参考)

<商品概要>

名称	チャイナ・グッドカンパニー
委託会社	住信アセットマネジメント株式会社
商品概要	<p>中国A株も含めた中国株に投資するSRIファンド。</p> <p>①中国経済が、世界経済のけん引役を担いつつある中、今後も長期的かつ持続的な成長が期待される中国本土および香港の株式市場に上場する中国企業の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指します。</p> <p>②中国企業への投資にあたっては、中国B株（上海B株・深圳B株）、香港H株、レッドチップ等に加え、中国A株（中国の取引所に上場している企業の人民元建株式である上海A株、深圳A株）に適格外国機関投資家（QFII*）制度を用いて投資します。</p> <p>*QFII（Qualified Foreign Institutional Investors）とは、一定の適格条件を満たし、中国証券監督管理委員会の認可を受けた中国国外の機関投資家のことです。中国A株への投資は、基本的に中国の国内投資家のみが可能となっていますが、QFIIも投資を認められています。</p> <p>③銘柄の選定に関しては、業績面の評価だけではなく、将来にわたり持続的な成長が期待される企業を、CSR（企業の社会的責任）の観点から選別します。</p>
当初募集期間	平成22年3月1日（月）～平成22年3月19日（金）
信託設定日	平成22年3月23日（火）
信託期間	平成22年3月23日～平成32年3月16日
お申込単位	一般コース、自動けいぞく投資コースとも1万円以上1円単位
お申込価額	【当初募集期間】1口＝1円 【継続募集期間】取得申込日の翌営業日の基準価額
お申込手数料	お申込金額（手数料等込）に応じ、基準価額に対して 5,000万円未満・・・・・・・・・・3.15%（税抜3.0%） 5,000万円以上1億円未満・・・・2.10%（税抜2.0%） 1億円以上・・・・・・・・・・1.05%（税抜1.0%）

○QFII 取得の経緯

住友信託銀行は2007年12月に中国証券監督管理委員会（CSRC）並びに国家外貨管理局（SAFE）宛て適格外国機関投資家（Qualified Foreign Institutional Investors、通称；QFII）の申請書を提出し、2009年6月にQFIIのライセンス、2009年12月に運用枠（Quota）50百万ドルの認可を取得しました。

中国A株は原則中国国内の投資家のみが取引可能ですが、当局のライセンスとQuotaを取得した外国の機関投資家も取引が可能となります。

2009年12月末現在、QFIIは94機関、うち日本は10機関。住友信託銀行は日本の機関投資家としては9番目、日本の銀行としては初めてのQFIIとなりました。